

# ミノルタ千代光会 会報 No.156

2022年度秋の行事	1-3
年頭のご挨拶	4
各地区の総会のご案内	4
理事会便り	5
事務局からお知らせ	5
追悼の辞	6
会員便り	6

## 2022年度 各地区の秋の行事



〈関東地区〉 11月1日  
品川プリンスホテル内  
「品川大飯店」 12名参加



〈中部地区〉10月27日 「豊川コロナワールド」 33名参加



ジャイアント・トラヤン  
(大阪出身ヤノベケンジさん  
作) 中之島美術館4階の階段  
横に設置されています。



中之島周辺を散策

〈関西地区〉 11月9日 「大阪中之島美術館」と懇親会 45名参加



# 2022年度 各地区の秋の行事報告

## 《中部地区》

10月27日 33名参加  
豊川コロナワールド

2022年10月27日(木)3年振りに親睦行事(ボーリング大会・コロナの湯&親睦食事会)は、会員33人の参加を得て豊川コロナワールドにて開催しました。

当日は10時30分よりボーリング大会を行い、2ゲームでの合計で24人が競い、加藤信行さんが305点のスコアで見事優勝されました。

ボーリング大会後、階下フロアでの親睦食事会では、じつくりと3年ぶりの親交を深め和やかなだんらんを過ごしました。

中締め後、スーパージョウ「コロナの湯」で日頃の憂さを洗い流してすっきりし、3月総会での再会を祈念し帰途につき無事行事を終えました。

以下参加者の寄稿です。

### ※行事参加者

#### 井上喜代美さん

「楽しい時間を有難うございました。皆様の元気なお顔を見て嬉しい限りです。

普段は家庭菜園とミニテニスで楽しく過ごしております。



### ボーリン大会優勝者 加藤信行さん

2022千代光会懇親会に参加して10月27日豊川コロナワールドで開催された中部地区懇親会に参加しました。

ボーリング、親睦懇親会、コロナの湯の催し物がありました。

退職以降親睦会へは参加していませんでしたが、今回友人の声掛けもあり行ってみたいと思いましたが、思い参加しました。

当日行ってみると皆さんマスクをしておりまた長年会っていませんので、声も掛けづらかったのですが、懐かしい人も居られたので会えて良かったです。

ボーリングは仲間と月1〜2回やっています。ハウスボールで150点目標にしていますが、130〜140点程です。当日はラッキーなことにも2ゲームで305点で1位でした。我々の年代はボーリングが流行していたので高得点の人が多くいると思っていましたので意外でした。

日頃身体を動かすようにしています。ミニテニスのクラブに入会し、週2、3回身体を動かしています。暇があれば近くの赤塚山公園まで8千歩を目標に散歩しています。

最近3年ぶりに昔のサッカー仲間と麻雀をしました。コロナ第8波が来ていますので、次は何時になるかわからないけど楽しみにしています。

本も図書館で借りて読んでいます。暇つぶしの宝物がありますよ!

元気なうちは頭も身体もマイペース。ボケ防止です。

千代光会の役員の方皆さん、お疲れ様です。有難うございました。

(中部地区 事務局記)

## 《関東地区》

11月1日 12名参加  
品川プリンスホテル内「品川大飯店」

久しぶりの秋の行事として懇親会を開催しました。会員が高齢化したため、どこかへ出かけるのではなく7月の懇親会と同じ場所での「懇親会」のほうに参加しやすいとの会員の声があり、7月と同じ浅草「吉幸」での開催を企画しましたが、同店がコロナにより休業となってしまう、今回の会場に場所を移しての開催となりました。

会は中華料理の丸テーブル(2卓)であったため、各テーブルとも大変会話が弾んでいました。

途中、今回の案内に対し欠席でも近況をお知らせ頂いた会員の近況報告を行いました。

残念ながらコロナ禍と高齢化による環境変化等で参加者は減少し、上は86歳から下は65歳の方々12名で、70歳代7名、80歳代4名、60歳代1名でした。

年次総会は来年3月14日に今回同様品川プリンスホテルでの開催を予定しています。

(関東地区 事務局記)



(次のページに続く)

## 《関西地区》

11月9日 45名参加

### 「大阪中之島美術館」と懇親会

今年の関西地区秋の行事は、11月9日(水)の午後から、最近新しく出来た中之島美術館で絵画鑑賞と大阪難波の道頓堀ホテルでの懇親会を開催しました。

参加申込者は48名でしたが、3名のキャンセルがあり当日の参加者は45名となり、コロナ前の行事参加者数に比べて4割ほどの減、関西地区会員の約1割弱の方の参加にとどまったことは残念です。

また、参加者はいつも参加頂いている馴染みの方が殆どで新しい参加者は数名のみでした。行事報告の前段が長くなりました。

最初の集合場所の中之島美術館までは最寄駅からいずれのルートも徒歩10分程度かかりません。

幸にも当日は晴天に恵まれ、美術館までの大阪市内の川沿いの景観をゆっくりと楽しみながら歩いて来られた方が多かったと思います。



中之島美術館2階芝生広場に皆様が集まり、事務局の塩見さんより場内での注意事項の説明を受け入場しました。美術館内では「ロートレックとミュシャ」の作品の数々が展示されていました。

館内での会話は出来るだけ慎むなどの注意があり、静かな観賞を余儀なくされましたが、絵画に興味のある方はゆっくりと興味がありました。絵画に興味のある方はゆっくりと興味がありました。絵画に興味のある方はゆっくりと興味がありました。

各自、思い思いのペースで観賞、終えた方より順次懇親会場の難波道頓堀ホテルへ近しい人

達と共に移動。

お昼過ぎの集合でしたので昼食を摂らずに来られた方もあり、また、当日は天気が良く歩くと喉が渇く暖かい陽気であったため、途中立ち飲み屋に寄って一杯引っかけから懇親会場に來られたグループもありました。

懇親会場の道頓堀ホテルに、皆さん開始時間内に無事到着して、各自思い思いのテーブルに近しいお仲間と着席されました。

各テーブルは6名掛けの中華料理特有の丸テーブル。各人の間にはアクリル板が設置されており、コロナの感染予防対策はバッチリ???

懇親会は、コースの中華料理と各種お酒の飲み放題です。

愈々、懇親会が始まると、皆様酔われない内にと参加者全員の集合写真を撮影し、帰りにその写真をホテル側のご厚意で各自頂きました。

懇親会は今井理事の司会で始まりましたが、三年ぶりの懇親会と云う事で、大場会長の開会の挨拶と乾杯もそこそこに皆様久しぶりの再会を喜び合う会話が各テーブルで弾みました。



宴も進んだ頃合いを見計らい、お持ちかねの懇親会でのメイン企画のビンゴゲーム大会が始まりました(もう一つの定番企画のカラオケはコロナ禍に配慮して今回は企画しませんでした)。

川口理事・池内監事の進行で番号が次々読み上げられて行き、リーチの声があちこちで掛かり始め更に読み上げが進むにつれてビンゴの当選者が徐々に出て来ました。



当選者は、等に応じた額の商品券(ちなみに一等は1万円分)を受け取られました。一等級及び二等までは、一般の会員の方でしたが、その後のビンゴの当選者は何故か現役員及び元役員に偏り、会場から「おかしー! 公取委に訴えるぞ!」などのヤジが飛ぶなど大きな盛り上がりを見せました。

軽妙なヤジなどで大いに盛り上がったビンゴゲーム大会も最後の18番目の当選者が出て終了の運びとなりました。

その後しばしの懇談の刻を経て、福井副会長の中締め挨拶と一本締めにて懇親会もお開きとなりました。

またの再会を合言葉に家路に就かれましたが、仲間同士でミナミの夜の街に消えて行かれた方も多く見かけました。

帰路には御堂筋のイルミネーションが点灯されていて思わず綺麗な光景を目にすることも出来ました。

開催前にはコロナの感染者数が増え増加傾向を見せて来ており開催を危ぶんでいましたが何とか無事に開催出来たことは幸いです。

来年度の秋の行事は、今年度よりも参加者数が増えて開催出来ることを祈りつつ報告とさせていただきます。

(関西地区 足立秀一記)

二〇二三年 年頭のご挨拶

会長 大場 勝

会員の皆様に置かれまして新たな年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

これまで3年間に渡り日常生活の制約になってきたコロナ禍はウイズコロナという形となり経済活動、社会生活が元の形に戻りつつある状況がニュース等でも報じられています。コロナ対応が大幅に個人に委ねられる状況になっていきますが、完全にコロナが鎮静した訳ではなく今暫くは恐れ過ぎずとも注意を怠ることなく今の体調、生活の維持に努めましよう。

旧年に嬉しかったことは、各地区での秋の親睦行事が3年ぶりに対面で実施されたことでした。これまで親交のある方々と久しぶりの再会を喜ぶ情景が見られ対面の楽しさを実感しました。コロナで開催できなかった3年間のブランクが今回の参加状況にどう現れるか関心がありましたが、行事内容の変更や会場を一新した地区もありコロナだけによる変化は分かりませんでした。

コロナがきっかけでリモートによる仕事・学習の仕方が普及したように、当会でも殆どの理事会や打ち合わせは一昨年に活用し始めたリモートのシステム利用で有効に行なうことが出来ました。しかし対面で顔を合わすことの利点もあり、今はコロナの状況を見ながら対応して行きたいと思えます。なお、このリモート

のソフトは会議だけでなく友人との懇親に会員どなたでも利用出来ますので使い方、申込方法を当会のホームページでご覧になり大いに利用されますよう期待しています。

さて2003年に経営統合が行なわれてから本年は20年目となります。統合当時の会員数は660人、その十年後には890人と最多人数となり、本年度始めには770人となっており減少傾向が続いています。これは入会者の減少と退会者数の増加の結果であり、会員数に基づき算出される会社から当会への活動助成金は年々減少することになります。

また会員の高齢化により、後期高齢者が全体のほぼ2/3を占め、平均年齢が77才の組織となっています。

この状態が続きますと、活動面では親睦行事等への参加人数が減少し、当会の運営の世話をする役員・スタッフのなり手も不足することになり、当会の各種活動の運営が一層難しくなるものと思われまます。これを千代光会の存続に関わる深刻な課題と認識して、理事会では今後の活動・運営について検討・議論を重ねており、皆様の声も参考にさせていただいて本年はその方向性をお示ししたいと考えています。

なお、当会の状況推移を示すデータ（会員数、平均年齢、入会・退会者数、行事等参加者数など）をこの会報に別添付しておりご参照ください。

新年も会員皆様のご健勝を祈念し、皆様の〇B会であるミノルタ千代光会の活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 2022年度 ミノルタ千代光会 【総会】 各地区の日程(予定) ご案内

### 《関東地区》

日時：3月14日(火)

場所：品川プリンスホテル内  
品川大飯店(中華料理店)

総会：13:00～  
(12:30受付開始)

懇親会 14:30～16:00

ご案内：1月下旬にメールまたはハガキにてご案内いたします。

### 《中部地区》

日時：3月11日(土)

場所：サーラプラザ豊川  
(JR豊川駅徒歩5分)  
[会場を変更しました]

総会：11:00～11:50

懇親会：12:00～14:30

ご案内：2月初めころに往復ハガキにて案内し、出欠を確認いたします。

### 《関西地区》

日時：3月10日(金)

場所：新阪急ホテル  
2階宴会場「花の間」

総会：11:00～11:40

懇親会：11:40～14:30

ご案内：案内状(総会およびフォトギャラリー)を同封しています。

「フォトギャラリー」も例年通り実施予定ですのでご参加  
よろしくお願いいたします。

## おめでとうございます

⊕=中部地区会員  
⊙=関東地区会員  
無印=関西地区会員

### <古稀>

11月 北條 誠孝  
12月 里村 敏一⊕ 桐山 安彦 田中 利幸  
1月 柴田 泰伸⊕

### <喜寿>

12月 生田 勲  
1月 岡林 勉 岩井 正治 佐竹 俊亮

### <傘寿>

12月 柴田 秀雄⊕ 丸山 昌男 高山 毅  
仲井 勝彦⊕  
1月 佐方 展生 阿部 治男

### <米寿>

11月 福井 清  
12月 川上 安上 熊谷 敏 ⊙ 平本 嘉男  
1月 太田 廣巳⊕ 池田 舒彦 福澤 香 ⊙

### <卒寿>

12月 川上 勉 ⊕ 仁田 三郎  
1月 沖嶋 嘉郎

対象者：11月23日から1月31日生まれの方

## 理事会だより

### 11月理事会(WEB会議)

- ◇各地区の秋の行事報告
- ◇中計検討委員会 答申書の審議  
他

### 12月理事会(WEB会議)

- ◇2022年度物故者慰霊祭収支報告
- ◇「事業所むかしいま」の今後について
- ◇関西地区議題  
2022年度総会について  
他

### 1月理事会(WEB会議)

- ◇2023年度活動方針について
- ◇「事業所むかしいま」の今後について
- ◇関西地区議題
  - ・ 役員改選について
  - ・ 2022年度総会関連他



## お悔やみ申し上げます

福井 清	2022年5月29日
大内 仁明	2022年7月27日
高橋 俊夫	2022年10月21日
木村 正博	2022年10月26日
七五三 節男	2022年11月19日
湯浅 和彦	2022年12月 7日
高濱 哲夫	2023年 1月 9日

## 事務局からお知らせ

### 新入会員のお知らせ

(所属地区)

門脇 正浩さん (関西地区)

山田 哲也さん (関西地区)

### 【会員状況】

1月17日現在

関西地区〔491名〕

中部地区〔206名〕 合計〔759名〕

関東地区〔 62名〕

木村 正博さん

10月26日死去



木村正博さんの訃報に接し謹んでお悔やみ申し上げます。

木村さんは昭和三十七年四月に入社されました。この年は千代田光学からミノルタカメラ(株)への社名変更、ミノルタハイマチックがアメリカ最初の宇宙船で地球を三周、業績の回復等明るい話題の多かった年でした。後に各分野で活躍された優秀な人材が多数入社されました。

木村さんは本社財務部経理課配属となり主に決算・税務分野を担当され、会計に関する豊富な知識を武器に、会計監査の場で公認会計士の先生方と議論を戦わせていた光景が目につかびます。

上司からの信頼も厚く頼りにされる存在でした。後輩の面倒見も良く丁寧な指導され、後に彼の指導を受けた後輩達が国内外の子会社・関連会社の役員として活躍しました。

昭和五十三年米国現地法人ミノルタコーポレーションの財務責任者として赴任、円高が進む厳しい経営環境の中で大変苦労されましたが任務を全うされ、昭和五十八年帰国後乞われて畑違いの伊丹工場管理部門その後本社物流部へ異動されました。

当時のミノルタは変革期の激動の時代でした。木村さんはその中で上層部の期待に応える働きをされました。

特に物流部ではサプライチェーンの再構築、それに伴う取引先とのタフな交渉等に大変苦労したと後年語っておられました。

在職中、仲間4人で生駒山に登ったことや彼と二人で香住の温泉旅館にカニ料理を食べに

行って、翌日大雪になり帰るのに苦労したことなど楽しかった思い出がよみがえります。

平成十一年九月退職後は、千里中央公民館内の千里ダンス同好会の世話人をされ、趣味であった社交ダンスを楽しんでいましたと奥様からお聞きしました。

木村さんと最後に会ったのは令和二年一月十一日梅田で開催されたOK会(故金谷社長を囲む新年会)でした。健康談義になり木村さんから現在病氣治療中である旨聞いておりましたが、そのような様子は微塵も感じられず元気に話されていました。まさかこんなに早く逝ってしまったわるとは想像もしておりませんでした。

彼とは昭和十四年生まれの同い歳でもあり一層寂しく残念な気持です。

今はただ木村さんのご冥福をお祈りするばかりです。安らかにお休みください。合掌。

(菰池敏治)

## 会員便り

ミノルタ事業所むかしいま

堺工場・組立時代の思い出

関東地区会員 榊 猛史

前回の会報「堺工場むかしいま」の記事を読んで、昔を懐かしく思い投稿しました。

私は、1960年中頃から1974年まで堺工場の組立部門で働いていました。

当時は、ワンフロア100人以上の組立部門に、課長・班長・シャッター要員以外は全て女性でした。フロアには4本の長いベルトコンベアがあり、両側に相互に組立機が配置され、増産になるほどコンベアは早くなり、コンベア上

のカメラ置き白ラインは一定間隔でも、一人の受け持ち部品数を少なくしたり、同じ仕事の作業者を二人にして対応、一日中同じ作業を繰り返す根気がいる仕事でした。

体調不良や何らかの不具合でコンベア速度に間に合わなくなると、あらかじめ机上に用意した完成品をそつとコンベア上に置き、また、ラインに入ったばかりの作業者にはベテランの女子が機の横に座り介助する体制でした。

私は課長付きのスタッフとして、三次元自動糊付け機実用化や、X1ブロッック組立化の実現等も行いましたが、最大の貢献は「マイナスねじを効率の良いプラスねじに全面切り替えた」ことです。浸炭焼き入れされた鉄ねじを探し当て組立ラインに導入し、従来のねじの手締めか

らエアードライバーの採用、その後、電動ドライバードライバーの採用、またコンベアラインでの自動ネジ締め機実用化も行い、SRシリーズの品質・作業性を一気に向上させました。

堺工場でのねじとの出会いは、私のその後の人生を決めたと言っても過言ではなく、83歳の今でも、ねじ生産会社で働いています。

私は生産現場を好んで働きましたが、皆様のおかげで堺工場と伊丹工場(前回投稿)の両方で合計76件の生産技術PAT(特許と実用新案を含む)を出願出来、会社の生産現場に貢献出来た事を誇りに思っています。

